

JAL Wellness活動実施報告

実施事業名：JSL視覚障がい者とともに行う運動・白杖手引き体験セミナー

実施日：2023年6月21日・22日

参加会社名：JALサンライト

参加者数：34名

活動概要：ウィングホールでの対面形式で、視覚障がいのある社員と晴眼者の社員が混ざり合いながら、白杖の使い方、視覚障がい者への手引き（誘導）を体験して、その後にミニブラインドサッカー体験を実施しました。

所感／参加者の声など

白杖・手引き体験では、より実践的に学んでいただきたいと考え、障害物や点字ブロックを配置したコースを作りました。参加者は2人ペアになり、アイマスクを着けて白杖を持って手引きをされる役(視覚障がい者約)、手引きをする約と、交代しながら2つの役を体験していただきました。

ミニブラインドサッカー体験では、現役のブラインドサッカー選手でもある視覚障がい社員がデモンストレーションを行い、その後に参加者が音の出るボールを蹴る体験などを行いました。

白杖・手引き体験の感想の中では、「視覚障がいを持つ方へのサポートの仕方や、どのような感覚で歩行されているのかを学ぶことができた」「社内外でお困りの視覚障がいの方がいたら今回学んだことを生かしてサポートしたい」というコメントをいただきました。また、ミニブラインドサッカー体験については、「見ているのとやってみるのでは大きな違いがあり、様々な音を聞き分けて間隔を研ぎ澄ませてプレーするブラインドサッカーに大変関心を持った」「また体験してみたい」などの感想がありました。

今回の企画の目的として、社員の皆さんへの運動機会の提供とともに、視覚障がい者への理解を深めること、社内外で視覚障がい者にサポートを行うことへの心理的ハードルを下げることを掲げていました。視覚障がいのある社員がこの企画を発信したこと、より実践的な内容を実施できたことで、参加者にも目的をご理解いただけたと感じています。

今回はJSLとつながりのある客室品質企画部の方にもご参加いただき、実際の接客にも活かせる内容だったと感想をいただきました。そのため、今後はJALグループ社員に向けても、こうした企画を発信していきたいと思えます。

また、視覚障がい以外の障がいについても理解新党の機会を提供できるように、様々な障がい者スポーツを取り入れていきたいと思えます。

【実施時写真】

